



各 位

2025年5月15日

会 社 名 株式会社モンスターラボ  
代表者名 代表取締役社長 鮎川 宏樹  
(コード：5255、グロース市場)  
問合せ先 CFO 鈴木 澄人  
(TEL. 03-4455-7243)

### 上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画の進捗状況について

当社は、2025年2月14日に公表いたしました2024年12月期決算短信〔IFRS〕（連結）にてお知らせしたとおり、2024年12月期において債務超過となり、2025年3月31日に「上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画（改善期間入り）について」を開示しております。つきましては、2025年12月第1四半期連結会計期間における上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた取り組みの進捗状況 について、以下のとおりお知らせいたします。

#### 1. 2025年12月期第1四半期連結会計期間決算の状況について

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上収益は1,899,698千円（前年同期比40.2%減）、営業利益は93,739千円（前年同期は891,590千円の営業損失）、税引前四半期損失は171,981千円（前年同期は268,911千円の税引前四半期損失）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は137,846千円（前年同期は340,633千円の親会社の所有者に帰属する四半期損失）、純資産額は△775,015千円（前連結会計年度末は△4,776,719千円）となりました。

#### 2. 上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた基本方針について

2025年3月31日に開示の「上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画（改善期間入り）について」でお知らせしましたとおり、財務と事業の両面における安定化を目指しております。財務面に関してはエクイティファイナンスについて複数の手段から検討を進めており、早期の財務基盤安定化を図ってまいります。

事業面に関しても2024年12月期において抜本的構造改革を行った事による事業の利益体質改善と、今後の成長に向けた3つの柱である「データ・エンタープライズシステム領域強化」「ボーダレスな組織運営による独自の価値提供」「AIによる生産性革新」の推進によっ

て持続的な収支の改善を果たし、早期の債務超過解消に繋げる方針です。

### 3. 基本方針を踏まえた取り組みの進捗状況について

2025年3月28日に公表しました「第三者割当による種類株式発行にかかる払込の完了および資本金および資本準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の効力発生に関するお知らせ」にてお知らせしておりますとおり、A種種類株式の発行による33億円の調達を実現しております。他方で2024年10月7日付けにてEVO FUNDを割当先として発行した第81回新株予約権によって2025年12月第1四半期連結会計期間においては777,770千円を調達しており、引き続き当該新株予約権による行使を継続し債務超過の圧縮を図り、その他エクイティファイナンス手段についても、早期の財務基盤安定化を目指して検討を進めてまいります。

事業面においては2024年12月期における抜本的構造改革による成長基盤構築が奏功したこともあり、2025年12月第1四半期連結会計期間においては93,739千円の営業利益を計上し、本業における黒字への転換を実現するに至りました。

### 4. 上場維持基準（純資産基準）適合に向けた改善期間

2025年1月1日から2027年12月31日

以上